

福祉サービス第三者評価結果

事業所名 相模原市立麻溝台保育園

発効：平成26年3月24日（平成29年3月23日まで有効）

公益社団法人神奈川県社会福祉士会

公益社団法人神奈川県社会福祉士会 第三者評価結果

事業所基本事項

フリガナ	サガミハラシリツ アサミゾダイホイクエン
事業所名 (正式名称を記載)	相模原市立 麻溝台保育園
事業所種別	保育所
事業所住所 最寄駅	〒252 - 0328 相模原市南区麻溝台 6-25-35 小田急線 相模大野駅下車 <input type="checkbox"/> バス ・ 徒歩 10 分
事業所電話番号	042-742-6653
事業所 FAX 番号	042-740-4988
事業所代表者名	役職名 園長 氏名 吉川 恵子
法人名及び 法人代表者名	法人名 _____ 法人代表者氏名 _____
URL	_____
e-mail	asamizodai-ho@city.sagamihara.kanagawa.jp
問合せ対応時間	8:30 ~17:00

事業所の概要 1

開設年月日	昭和 28 年 4 月 1 日
定員数	150 名 (本年 4 月 1 日の在籍園児年齢①3 歳未満:52 名 ②3 歳以上:98 名)
都市計画法上の用途地域	準工業地域
建物構造	鉄筋コンクリート造り 2 階建て
面積	敷地面積 (822、146) m ² 延床面積 (97、31) m ²

事業所の概要 2 (職員の概要)

総職員数	44 名
うち、次の職種に該当する職員数	園長 (常勤 1 名) 保育士 (常勤 22 名・常勤以外 17 名) 栄養士 (常勤 0 名・常勤以外 0 名) その他 (事務員 0 名、調理員 3 名、庁務作業員 1 名)

事業所の概要 3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	生後 8 週～小学校就学未満
延長保育の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 備考: 18:00~19:00
休日保育の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 備考:
一時保育の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 備考: 8:30~16:30
障害児保育の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 備考:
病後児保育の実施	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 備考:

保育の方針

<p>生きる力の基礎である丈夫な体を作り、意欲と思いやりのある心を培う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然豊かな広い園庭で体を十分に動かし、丈夫な体をつくる。 ・ 安心できる環境のもと、やりたい気持ちを大切に、一人ひとりの意欲を育てる。 ・ 周囲の人に愛され、思いやりの心を育てる。

公益社団法人神奈川県社会福祉士会 第三者評価結果

1. 総合コメント

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善を要する点）

優れている点・独自に取り組んでいる点：

○保育目標

麻溝台保育園の保育目標に、「意欲と思いやりのある子ども」として、「①清潔で安全な環境を整え、一人ひとりが安定して生き生きと快適に生活できるようにする、②いろいろな人との関わりの中で温かいふれあいと思いやりの心を育てる、③水道みちに面した広い園庭で、自然と触れ合いながらのびのびと遊ぶ中で、豊かな感性を育てるとともに自主協調の態度を養う」を掲げ保育に取り組んでいる。

○広い園庭と環境

園庭が広く、全学年が園庭で遊ぶことができ、乳幼児の交流も早い段階からするなど異年齢の交流が自然にできている。また、季節により周回コースを内側と外側二重に設定しマラソンを行っている。園庭での虫探し、野菜や植物の栽培を通して、動植物に親しみと生命の尊さに気付けるようにしている。公園に隣接しており、散歩の途中や公園で地域の人に挨拶をするなど交流している。

○オープン保育

職員がチームで園児みんなを見ていこうという「全園児を全職員で」との体制の下で、“オープン保育”を実践している。その中では常に異年齢児との交流があり、年上児に優しくされたり褒められたことが経験として培われ、また年下児の世話をする経験を通し、いたわりや思いやりの気持ちが育つようにしている。行事の練習も同様に、練習の様子を他の年齢児が見て真似する姿がある。

○地域子育て支援

地域支援担当保育士を中心に、園が持つ子育ての知識、技術、設備等を生かし、地域の子育て支援の拠点として様々な事業に取り組んでいる。一時保育や毎日の園庭解放、プール開き、夕涼み会、保育ウィーク等の行事や毎月の誕生会への参加呼びかけ、絵本、紙芝居の貸し出しを行っている。また、園内や地域のふれあい親子サロンにおいて育児相談、近隣の保育園と協力して子育て支援事業、また地域コミュニティグループの相談・援助を行っている。

○ランチルームと特別食

幼児クラスはランチルームで給食をとっている。ランチルームでは、自由に好きな場所で決められた時間内であれば好きな時に給食をとる事ができる。また、給食は普通食以外に、アレルギー除去食や豚に由来する原料を除去した宗教食にも対応している。食物アレルギーについて子どもたちに説明し、安全に食事がとれるようランチルーム入り口床の足拭きマットやアレルギー除去食の為の準備、提供時のダブルチェックなど、特別な配慮に子どもたちが気付けるよう整えている。

○クッキングと食育

食育の一環として、主に5歳児を対象に年数回クッキングを実施している。クッキングでは、子ども用の包丁やピーラーを扱い、自分たちで育てた野菜も利用して下ごしらえから調理、食事まで、自分で育て自分で作って食べる取り組みをしている。また、週1回位を目標に縦割グループでピーラーを使っての下ごしらえや、4歳児が白玉を丸めて作るなど、調理される過程を知り、食材に対する興味関心を持ち、感謝をして食べる気持ちを育てている。

評価領域ごとの特記事項

1	人権への配慮	<p>○園児や保護者に対する適切な言葉遣いや態度については、「麻溝台保育園保育マニュアル」に定め、職員会議での話し合いや、接遇に関する外部研修の報告等を行うことで、共通認識をもって保育に取り組んでいる。外国籍園児や保護者には、配布物にルビを振ったりすることで、個別の対応を日頃から心掛けている。</p> <p>○相模原市個人情報保護条例が制定されており、職員会議等での周知や園内に個人情報に関するパンフレットを掲示し、職員の意識の徹底をはかっている。個人情報を含む書類は書庫に施錠して保管し、「持ち出し管理票」にて取り扱っている。</p> <p>○実習生やボランティア、見学者の受入れにあたっては、受入れマニュアルを整備し、プライバシーの保護について説明し徹底をはかっている。</p>
---	--------	--

2	利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援	<p>○家庭との連絡・情報交換は、「麻溝台保育園保育マニュアル」で手段・方法等を定め、連絡帳や身体測定カード、園だより、クラスだよりのほか、送迎時に保護者が確認できるように、その日の様子や連絡事項を保育情報ボードに掲示し、保育状況を知らせるなど、連絡を密にしている。</p> <p>○クラス懇談会を年2回実施し、保護者の意見・要望を把握している。個人面談は全園児に年1回実施する他、必要に応じその都度行っている。</p> <p>○運動会やおたのしみ会等の保護者参加の行事の後には、アンケートを実施している。また、保護者が意見や要望等を出しやすいように「ご意見ボックス」を設置し、日頃より保護者の希望や意向の把握に努めている。</p>
3	サービスマネジメントシステムの確立	<p>○苦情への対応は、「相模原市立保育所及び療育センターにおける苦情解決実施要綱」に手順を明記し、苦情受付担当者や苦情解決責任者、第三者委員名を、正面玄関と給食室前など3ヶ所に掲示して、保護者に周知している。受け付けた苦情は「苦情受付書」に記し、手順に沿い対応している。</p> <p>○「相模原市立保育園園児健康管理マニュアル」で、室内の環境整備の方法を定め、「安全衛生チェックリスト」で温度や湿度や換気、消毒液、洗剤の管理、危険物などの管理について安全点検を行っている。園児が触れるおもちゃ等の除菌・消毒、遊具の安全点検については「園児健康管理マニュアル」「安全チェックリスト」に管理方法を定め、点検実行記録をつけて衛生面・安全面の管理を行っている。</p> <p>○「相模原市役所保育課感染症マニュアル」「麻溝台保育園マニュアル」を常備し、季節に流行する感染症の資料を配布している。インフルエンザなどの情報が載った保健ニュースを保育室前の「保健、衛生のお知らせ」に掲示している。また、「園だより」や「保健だより」で、インフルエンザなどの情報を保護者に提供している。</p> <p>○防火・防災については、「麻溝台保育園消防計画」に基づき避難訓練などを毎月行なっている。防犯については、「麻溝台保育園保育マニュアル」不審者対応に沿って防犯訓練を実施している。施後は、職員会議等で反省と見直しを行っている。</p>
4	地域との交流・連携	<p>○地域の子育て支援については、地域担当職員を中心に支援を行っている。年間計画を作成し、夕涼み会や保育ウィーク、毎月の誕生会など保育園行事への参加を呼びかけている。年間を通して園庭を開放し、絵本や紙芝居等の貸し出し、一時保育・育児相談などを行っている。</p> <p>○地域の子どもセンターで「親子サロン」などを行い、遊びの紹介や育児講座「にこにこえくぼ」などを開催している。地域の親子向けに「大きな木」等の機関紙を発行し、子育てに関する情報を提供している。</p> <p>○近くの小学校に5歳児が3月に招かれ交流している。</p>
5	運営上の透明性の確保と継続性	<p>○麻溝台保育園独自の自己評価様式を作成・実施し、その結果を職員会議でフィードバックし改善につなげている。保護者アンケートの結果も参考に、行事について行事ごとに全職員で振り返りを行い、日々の保育については乳児・幼児の話し合い会議で検討し改善を図っている。</p> <p>○保育目標は、保護者や地域からの理解が得られるよう、園内へ掲示したり、「麻溝台だより（園だより）」「みんななかよし麻溝台保育園パンフレット」「麻溝台保育園マニュアル」などで周知している。</p> <p>○保育の様子を見る機会を年3回、公開保育、保育ウィーク、保育参観を開催しクラス毎に懇談会も行っている。</p>
6	職員の資質向上促進	<p>○「相模原市立保育園保育マニュアル」や「麻溝台保育園マニュアル」に、保育の理念や保育目標を明記している。内容を職員会議で話し合い、基本姿勢の統一をはかっている。</p> <p>○研修計画は「保育所職員研修計画」に則り、役職・勤続年数・担当などを考慮し、職員一人ひとりの年間研修計画を立て実施している。園内研修は自主研修係が中心となり、計画を立てて実施している。</p> <p>○外部研修を受講した職員は、職員会議で研修報告を行うとともに、研修報告書を回覧している。研修報告書はファイルし、自由に閲覧できるように事務室に置いている。</p>

2. 評価項目に基づく評価の結果

大項目 1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行った結果です

大項目 1 全体 （調査確認事項全 80 事項） を通してのサービスの達成状況	100%
---	-------------

大項目 1 の内容 (概要)

1	人権の尊重	子どもや保護者に対する態度や言葉遣い 出生や国籍、性差などによる差別の禁止 子どもの虐待予防や早期発見のための地域の関係機関・団体との連携
2	プライバシー確保	プライバシー確保への配慮 個人情報保護の体制整備
3	家庭と保育園との信頼関係の確立	家庭との連絡、情報交換の体制 家庭の意向・希望の把握
4	苦情解決システム	苦情解決の体制整備
5	環境整備	温度や湿度等の管理 洗剤等の危険物の管理 おもちゃ、遊具等の管理
6	健康管理(感染症対策・救急救命を含む)	体調不良児、けがへの対応 感染症への対応 救急事態発生時の医療機関・家族等との連携
7	危機管理(防災・防犯)	火災や震災等の対応 日常の防災・防犯体制の整備
8	地域の子育て支援	地域内の子育てニーズの把握と支援
9	自己評価と情報開示	自己点検・改善活動の実施 地域への情報提供、情報開示 見学や保育参観の機会の設定
10	職員研修	職員研修の実施 実習生の受入れ、指導

大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもと保育士とのかかわりにおいて、子どもの情緒の安定をはかることや、順調な発育・発達を促すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①生理的欲求を満たし、スキンシップをとりながら、一人ひとりの気持ちに共感して、信頼関係を築いている。</p> <p>②静と動の活動を確保して時には少人数で保育し、一人ひとりの生活リズムに応じた対応をしている。</p> <p>③クラスの個別配慮を乳幼児の話し合いやオープンの話し合い時に周知して全職員で連携して対応している。</p>	<p>①園児の気持ちを捉え環境に慣れるまでしばらく泣くことを見守り、じっくり関わりスキンシップを図る事で園児に良い表情が見られる事を、「保育日誌」で確認した。</p> <p>②「鯉のぼり作成とプレイジム」で静と動の活動を工夫している事、眠くなる時間など一人ひとりの生活リズムに応じた対応をしている事を、「保育日誌」で確認した。</p> <p>③「アレルギー性結膜炎」「脳波測定」「溶連菌」など健康面での個別配慮が必要な事例で各組の個別の状況を報告し、全職員で確認している事を、「乳児話し合い」で確認した。</p>
<p>子ども同士のかかわりにおいて、個の違いを認めあうことや他者と自分を大切にすることを育てるためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①子ども同士の関わりを見守り、お互いの気持ちを伝え合えるよう、時には代弁しながら友だちの存在を認め合えるようにしている。</p> <p>②一人ひとりの頑張りや良い面を他児に伝える場を作り、子どもが自尊心や自信を持てるように言葉をかけている。</p> <p>③毎月誕生会を設定する他、一人ひとりの誕生日にクラスでお祝いし、友だちに祝ってもらおう嬉しさや他児を思いやる気持ちを育てている。</p>	<p>①「おにぎりのやりとり」事例で園児同士の関わりを見守っている事を、「保育日誌」で確認した。</p> <p>②園児の良い面を他児に伝え、自信を持てるように保育している事を、また園児が園児を褒める場面を設定している事を、「保育日誌」で確認した。</p> <p>③毎月の誕生会の様子を、「9月の誕生会」「楽しいこといっぱい!」保育日誌で確認した。一人ひとりの誕生日にクラスでお祝いし友だちに褒められている事を、「保育日誌」で確認した。</p>
<p>子どもと社会とのかかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることの楽しさを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①各クラスでの当番活動や手伝いを経験できるようにし役割を果たすことで人の役に立つ喜びや感謝される喜びを感じられるようにしている。</p> <p>②異年齢児との交流の中で年上児に優しくされたり年下児の世話をする経験を通し、いたわりや思いやりの気持ちを味わえるようにしている。</p> <p>③散歩を通して挨拶を交わしたり地域の子どもたちとの関わりを楽しめるよう援助している。</p>	<p>①ランチ当番を張り切ってやっている様子、時間や役割を意識して当番をする様子を、「保育日誌」や訪問調査時の子ども達の様子観察で確認した。</p> <p>②異年齢児との交流の中で、年下児に対し優しく手を差し出したり手伝う様子を、「保育日誌」で確認した。</p> <p>③小学生が園児の三輪車を押す様子、麻溝保育園の園児と遊び手紙を交換する様子を、「保育日誌」「麻溝保育園のお友達と遊びました」で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①子ども同士の関わりが広がるようなコーナーやあそびを設定し、言葉のやりとりを楽しめるような環境を整えている。</p> <p>②日常生活の中で、優しい語りかけを通して、心地よい言葉を知らせている。</p> <p>③やりとりが楽しめるような言葉あそびや絵本、視聴覚教材を生活の中に取り入れている。</p>	<p>①子ども同士の関わりが広がるようなコーナーやあそびの設定について、ままごとコーナーでアイスやさんごっこを楽しんでいる様子を、「保育日誌」で確認した。</p> <p>②優しい語りかけを通して、心地よい言葉を知らせていることについて、線路あそびで、一緒にやりたい気持ちを代弁したり、「ありがとう」の声掛けで仲良く関われる機会を作っている様子を、「保育日誌」で確認した。</p> <p>③やりとりが楽しめるような言葉あそびや視聴覚教材について、パネルシアターや紙コップシアターの様子を、「保育日誌」や「6月幼児誕生会」で確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①子どもの気持ちを受け止め、共感、代弁し、自分なりの言葉で表現できるよう話しやすい雰囲気作りを心掛けている。</p> <p>②あそびや生活の中で応答的なやりとりを楽しんだり、自分の思いを発表したりする機会を持っている。</p> <p>③日常的に絵本や紙芝居の読み聞かせやお話会などで年齢に合った保育教材、手あそび、歌を提供し、共に楽しむ中で言葉の発達を促している。</p>	<p>①グループに入れずにいた園児の気持ちを代弁するなど、言葉で表現する事を大切に保育している様子を、「保育日誌」で確認した。</p> <p>②「この2ヶ月間でできるようになった事」を皆の前で発表している様子、消防士さんの説明に応答的にやりとりしている様子を、「保育日誌」で確認した。</p> <p>③手遊びを通じて言葉のやりとりを楽しんでいる様子、ボランティアのグループが来園し素話をしている様子を、「保育日誌」で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①子どもたちの発達や興味に応じたコーナー作りの中で、ごっこあそびが十分楽しめるように設定している。</p> <p>②普段の生活の中で季節の歌を皆で歌ったり身体でリズムを感じられるようなあそびをしている。</p> <p>③いろいろな感覚を楽しみながら、五感を育むあそびを提供している。</p>	<p>①子どもたちの発達や興味に応じたコーナー作りについて、ままごとコーナーなどクラス毎の工夫の様子を、「保育日誌」や訪問調査時の様子観察で確認した。</p> <p>②乳児クラスで今月の歌として季節を捉えた歌を選んでいる事、リズムカルな曲に体をゆらして音楽を感じている様子を、「0,1乳児クラスの年間予定、年間の歌予定(報告欄)」「保育日誌」で確認した。</p> <p>③五感を育むあそびについて、梅の実を拾いにおいをかいたり手触りを楽しんだりしている様子、泥んこあそびでぬるっとした感触など全身で楽しんでいる様子を、「保育日誌」で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなで一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①子どもの自由な発想を遊びに取り入れ自発的に表現する意欲を育んでいる。</p> <p>②夕涼み会や運動会、発表会の行事を通して、一人ひとりの表現する意欲を育み、皆で作りに上げていくことの喜びを持つるように取り組んでいる。</p> <p>③いろいろな素材を使い、創造的な表現ができるように環境を整えている。</p>	<p>①桜の茎を使ったままごとの様子、型抜きされた画用紙の利用などから、自由な発想を大切に保育している事を、「保育日誌」で確認した。</p> <p>②夕涼み会に向けてお神輿を作っている様子、発表会の出し物を楽しみながら準備している様子を、「保育日誌」や「保育情報ボード」の記載で確認した。</p> <p>③牛乳パックや製作用の紙などの素材が準備されている事を、「保育情報ボード」の記載や訪問調査時の様子観察で確認した。自然な素材として松ぼっくりで遊んでいる様子を、「保育日誌」で確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①イメージを広げて楽しめるように日々の保育の中で視覚教材を使ったり、想像力が高まるように素話や明日への期待が持てる集会の時間を設けている。</p> <p>②体育用具を組み合わせたサーキット、体操、ゲームあそびやマラソンを通して身体を動かす楽しさを味わえるようにしている。</p> <p>③子どもの興味に応じたコーナーあそびを常設しあそびこめたり、自らあそびを展開できるような環境を作っている。</p>	<p>①絵本で食べるまねを通じてイメージを広げている様子、視覚教材としてパネルシアターを用いている様子を、「保育日誌」や「児童の記録」、訪問調査時の様子観察で確認した。</p> <p>②マット、トランポリン、トンネルなど体を動かして遊ぶ工夫、ヨガコーナーで体をリラックスしている様子や広い園庭でのマラソンの様子を、「保育日誌」で確認した。</p> <p>③コーナーの設置場所と内容を、「赤組保育室見取り図」と訪問調査時の様子観察で確認した。お店屋さんごっこの中で、ポイントカードを作ってみるなど自ら遊びを展開できる環境を工夫している様子を、「保育日誌」で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①野菜や植物の栽培、園庭での虫探し、生き物を飼育することを通して、身近な動植物に親しみを持ち、生命の尊さに気付けるようにしている。</p> <p>②水あそび、草花、氷や雪あそびなど、季節を感じたり、その変化に気付けるようなあそびを行なっている。</p> <p>③園外保育活動や地域の交流を通して、交通ルールや公共マナーを知ったり、身近な出来事を伝えることにより、社会事象に興味関心を持てるようにしている。</p>	<p>①ピーマンの栽培や田植えを行った様子、さなぎからチョウチョになっている事に気付いた様子を、「保育日誌」で確認した。クラス毎に栽培する植物を決め育てている様子を訪問調査時の様子観察で確認した。</p> <p>②夏に水鉄砲で水遊びをしている様子、いちよの葉っぱで遊びの秋を感じている様子を、「保育日誌」で確認した。</p> <p>③公園までの道のりで、信号について学んでいる様子、水道みちのゴミ拾いを通じてゴミの分別など学んでいる様子を、「保育日誌」で確認した。</p>
<p>自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①ランチルームにメニューボードや食に関するボードを設置することにより子どもたちの関心や食事マナーが高まり、身につくようにしている。</p> <p>②各クラスで野菜を育て、食材に対する興味関心をもち、感謝をして食べる気持ちを育てている。また自分たちで下ごしらえやクッキングをする中で食材が調理される過程を知り、食べる喜びへとつながるようにしている。</p> <p>③トイレを清潔で明るい雰囲気にして、自分から進んでいきたくするように環境を整えている。個々の排泄間隔に合わせてオムツを交換したりトイレに誘ったりしている。</p>	<p>①食育ボードでマナーに関する掲示をしている事、食材ボードで食材を確認している様子を、「保育日誌」「麻溝台だより」や写真、訪問調査時の様子観察で確認した。</p> <p>②各クラスで野菜を育てている様子を「麻溝台だより」および訪問調査時の様子観察で確認した。育てたゴーヤやトマトが給食に出ている様子、自分たちで下ごしらえやクッキングをするのを「保育日誌」で確認した。</p> <p>③桃組トイレにモバイル装飾をして工夫している様子、一人ひとりのタイミングでトイレに誘っている様子を、「保育日誌」で確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①身の回りの事を自分でしようとする意欲を育む為に、自分の持ち物や場所をわかりやすいように環境を整え、年齢や個々に応じた援助関わりをしている。</p> <p>②個々の関わりを通して、食事や休息の大切さを伝えている。また紙芝居などを通して子どもたちが自分で考えたり気付いたりできる機会を設けている。</p> <p>③園と家庭とが連携して、基本的な生活習慣の大切さを伝えるため、情報提供や情報交換をしている。</p>	<p>①園児が自分でタオルをかけている様子、マークを目印に帽子や靴の出し入れの様子、整理しやすいように工夫している各園児のロッカーや上履き入れを「保育日誌」や訪問調査時の様子観察で確認した。</p> <p>②ペーパーサートを用いて食事のマナーや食べる事の大切さを伝えている様子、麦茶をのむ事の大切さを教える様子、食べる前に見た紙芝居を思い出してキュウリを食べる様子を、「保育日誌」で確認した。</p> <p>③自ら進んで衣服の調整を行えるよう、保育士が保護者に様子を伝えながら連携し取り組んでいる様子を「保育日誌」や「保育情報ボード」の記載で確認した。</p>

大項目 3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもの豊かな心と身体をはぐむための特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>①広い園庭を利用し、皆でマラソンをすることで、健康な身体を育む為の取り組みをしている。</p> <p>②20年前から伝統行事として続いているお茶会を経験し、本物の所作を知ることによって豊かな心を育てている。</p> <p>③ピカピカデーを通し、地域の方たちや皆が使う場所をきれいにすることで、公共の場でのマナーが自然に身につくようにしている。</p>	<p>①マラソンの様子、マラソンカードを工夫している様子を、「麻溝台だより（寒さに負けない体づくり）」「オープン保育年間計（報告欄）」及び訪問調査時の様子観察で確認した。</p> <p>②お茶会の準備をしている様子、来園したお茶の先生と本物の所作に基づいたやりとりを、「保育日誌」「麻溝台だより（お茶会をしました）」や「保育情報ボード」の記載で確認した。</p> <p>③ごみを捨ててはいけないという意識、人のために綺麗にしようという意識が芽生えている様子、掃除の様子を「保育日誌」や「保育情報ボード」の記載で確認した。</p>
<p>保育環境に特別な配慮を必要とする子ども(長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児)の保育に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>①延長保育では異年齢の関わりを見守りながら、ゆったりと落ち着いた雰囲気の中で過ごせるようにしている。</p> <p>②障害のある子どもや配慮を要する子どもの保育では個別支援計画を立て、保護者との共通理解や一人ひとりに合わせた対応の周知を行ない、必要に応じた個別対応を行なっている。</p> <p>③外国籍児に対しては、国籍や文化を認め合い、お互いに尊重できるように保育している。</p>	<p>①延長保育での異年齢の関わりの様子、困われたホッとできる環境を設定している様子を、「延長保育日誌」で確認した。</p> <p>②障害のある子どもや配慮を要する園児についてカンファレンスで保育内容を検討していることを「カンファレンス用紙（園内用）」で確認した。また、障害のある子どもに絵カードを工夫しながら保育している様子や個別に対応している様子を「保育日誌」と訪問調査時の子ども達の様子観察で確認した。</p> <p>③国旗を示しながら外国籍園児を紹介している様子を、その国旗が万国旗にないのを知り皆で作る様子を、「保育日誌」で確認した。外国籍園児と自然体で接している様子を、「保育日誌」「個人面談記録」や訪問調査時の子ども達の様子観察で確認した。</p>

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>健康管理に特別な配慮を必要とする子ども(アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など)の保育に関しての特徴的な取り組み(アレルギー食対応、個別食、離乳食など)について説明してください</p>	<p>①麻溝台保育園マニュアルの食物アレルギー対応に従って診断書や指示書をもとに調理員が献立表をチェックしている。その後、園長、保育士、保護者が再度確認を行い、それに基づいた給食を提供している。</p> <p>②体調不良の時は室内でゆったりと過ごすようにしている。また、十分な水分補給をし、こまめに体温をはかり、常に状態の把握ができるようにしている</p> <p>③離乳食については保護者とのやりとりの中で食事の形態や様子を常に確認し、給食室との連携をはかり、子どもに合った形態で提供している。</p>	<p>①食物アレルギー等の除去食対応手順の明記、個別の配慮を、「食物アレルギー等除去食対応の手順」「食物アレルギー個別票兼対応確認書」で確認した。アレルギー除去食の提供を、「アレルギー対応食受け渡しチェック表」「アレルギー除去食 給食調理員、保育士との確認」および訪問調査時の子ども達の様子観察で確認した。</p> <p>②体調不良の園児や手術後で固い物が食べられない園児に対し、お粥や細かく刻んだ食事を提供したり、こまめな体温計測や水分補給を心がけ個別で保育している様子を、「保育日誌」で確認した。</p> <p>③離乳食を保護者と一緒に食べ確認している様子、離乳食の提供を、「離乳食の食材表」「保育日誌」や写真、訪問調査時の離乳食見本で確認した。</p>
<p>食に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>①野菜の栽培や収穫、下ごしらえやクッキングなどを通して作る過程を知り、調理員と交流を持ちながら、食材に興味を持てるようにし、楽しんで食事ができるようにしている。</p> <p>②給食に関連した情報、ミニ知識を掲示して、保護者や子どもたちの食への関心を高めたり、試食会を開催し、共通認識を持てるようにしている。</p> <p>③食物アレルギーについて子どもたちに知らせ、安全、衛生的に食事がとれるような環境やマナーに子どもたちが気付けて整えられるようにしている。</p>	<p>①オクラ、夏野菜、トウモロコシ、ピーマン、なす、お米、トマトの栽培を、「麻溝台だより(オクラの栽培)」で確認した。クッキングの内容と調理員との交流の様子を、「調理保育実施計画書」「保育日誌」で確認した</p> <p>②給食に関連した情報の掲載、食育情報の掲示を、「麻溝台だより」「食育情報掲示」「食育年間過程」で確認した。試食会の様子を、「給食試食会のお知らせ」「試食会アンケート結果」で確認した。</p> <p>③食物アレルギー、安全、衛生的をとらえた環境やマナーについて子どもたちに知らせている事を、「保育日誌」で確認した。</p>
<p>家庭とのコミュニケーションに関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>①乳幼児のお知らせボードや各クラスの保育情報ボードに保育の様子や写真掲示をし、保護者に分かりやすく伝えたり、保育士から声を掛けることで保護者からも話しやすい雰囲気を作っている。</p> <p>②公開保育や試食会、夕涼み会など、保護者参加型の行事で保育の様子を見る機会を作り発表会や運動会で子どもたちの発達や成長を共に喜び合えるようにしている。</p> <p>③懇談会、個人面談、育児相談や連絡帳などで家庭とのやりとりを密に行いながらコミュニケーションをとるようにしている。</p>	<p>①保育の様子を保育情報ボードで伝えている様子、全家庭の了解のもと秋の遠足時の全園児のお弁当の写真を撮り掲示している様子を、「保育情報ボード」記載と訪問調査時の様子観察で確認した。</p> <p>②運動会を「60周年うんどう会競技内容」ファイルで、発表会を「保育情報ボード」の記載で、公開保育「フルーツバスケット」の様子を保育日誌で確認した。</p> <p>③懇談会、個人面談の様子を、「桃組懇談会」「個人面談記録」で確認した。</p>

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>①園庭解放、誕生会、園行事「ちびっこタイム」など園児と地域の親子の交流や一時保育、育児相談などを行っている。</p> <p>②保健師との事業では地域の親子を支援し、相談業務を行っている。近隣の保育園と協力して子育て支援事業を実施している。また、地域コミュニティグループの相談・援助を行っている。</p> <p>③地域担当職員を中心に園内の地域交流事業を行う。地域の親子に向け、「大きな木」を発行し、簡単レシピや手作りおもちゃの紹介など、育児に関する情報を提供している。</p>	<p>①地域交流のお知らせを「あそびにきませんか」で、相模台こどもセンターに地域支援事業のチラシを置いている様子を「センター玄関（写真）」で確認した。一時預かりの実績を「特定保育・一時預かり事業実施状況調書」で確認した。</p> <p>②ふれあい親子サロンの日程を「ふれあい親子サロン日程表」で、相模台こどもセンターでの親子サロンの様子を「地域子育て支援事業等報告書（写真）」で確認した。育児相談の様子を「育児等相談カード」で、子育て支援講座「にこにこえくぼ」の様子を「子育て支援講座状況・申し送り事項」で確認した。</p> <p>③ベビーサロンの様子を「地域子育て支援事業等報告書」で、手遊びやおもちゃの紹介、簡単レシピや健康面の情報などを掲載している地域向け情報誌を「おおきな木」で確認した。ちびっこタイムの様子を「地域子育て支援事業等報告書」で確認した。</p>

3. 利用者への調査

～ 保護者アンケート調査を実施した結果です ～

(1) 調査の状況

調査期間	平成 25 年 8 月～ 平成 25 年 9 月
調査方法	所定の調査票(アンケート票)により実施した。
調査対象者の匿名化	調査は無記名で行い、調査結果から回答について個人が特定化される場合は、評価機関で匿名化を図った。
アンケート調査票の配布	対象者には事業所を經由して調査票を配布した。
アンケート調査票の回収	記入済みの調査票は対象者から直接、評価機関に郵送された。
回収の状況	調査票配布数 90 通 : 返送通数 53 通 : 回収率 58.8%

(2) 調査結果の傾向

- 「園の良いところ」として挙げられた意見(自由記述)は 69 件、その他の自由記述欄に寄せられた意見の中にも、肯定的な意見が 9 件含まれており、合計で 78 件の「良い点」についての意見が挙げられた。
 同じく「園に改善してほしいところ」として挙げられた意見(自由記述)は 39 件であった。
- 項目別の回答状況では、「保育内容」について、「満足している」が 60.4%、「まあまあ満足している」が、28.3%で、8 割以上が園に満足している。
 一方、「やや不満足である」が 5.7%、「不満足である」は 1.9%、「無回答」は 3.8%と回答していた。
- 「子どもに対する職員の対応や態度」、「子どもが楽しく過ごせている」について、回答者から高い満足度が得られている。
- 「天井の補修等、耐震面の不安」、「発表会など会場が狭いので対策を望む」、「トイレの臭いの改善」などに関しては、より一層の努力が期待されている。
- 個別意見では良い点として、「先生は明るく、親切・丁寧・熱心」「悪いことはしっかり叱ってくれる」「全園児の子ども名前を覚えてくれている」、「給食の内容が良く、アレルギー食の対応も良い」「感染症の情報提供」などが挙げられている。
- 保育内容では、「広い園庭で、子どもがのびのびと過ごしている」、「異年齢の交流がある」、「様々な遊びを選んで遊べる」、「行事が充実している」など、多くの意見が寄せられていた。
- 自由記述に寄せられた意見としては、「保育士の対応や態度の改善、特に、思いやりの言葉かけが欲しい」、「一日の子どもの様子をもっと教えてほしい」「もっと外に出て遊ぶ機会を増やしてほしい」「衣類やタオルなど、物がよくなる」などの意見も挙げられている。
- 全体を通して、日常の保育や園児の様子から、園の方針や取り組みが保護者に伝わり、支持されていることが推察される。
- 園に改善を望む点について、「天井の補修などの耐震対策」「発表会などの行事の仕方」など具体的な内容が挙がっており、今後の課題として取り組むことを期待する。